

平成30年度 全国高等学校バスケットボール選手権大会(愛媛県予選)

【 男子 】		10/27	10/28	11/3	11/4	11/3	10/28	10/27		
1	松山工業	135						71	今治西	9
		A-1 9:30	124				63	B-4 14:30		
2	弓削商船	60						79	八幡浜工	10
			A-1 9:30	91		47	B-2 11:10	86		
3	宇和島南	74						A-4 14:30	今治南	11
		B-1 9:30	60				70	76	松山城南	12
4	松山商	94								
				C-2 11:10	65	79	D-2 11:10	103	松山中央	13
5	松山北	78						B-3 12:50		
		A-2 11:10	83				44	47	東予	14
6	大洲	61						A-2 11:10		
			B-1 9:30	53		105		45	吉田	15
7	三島	69						A-3 12:50		
		B-2 11:10	68				127	155	新田	16
8	済美平成	103								

【 女子 】		10/27	10/28	11/3	11/10	11/3	10/28	10/27		
1	聖力学園	130						105	新居浜商	9
		C-1 9:30	119				115	C-4 14:30		
2	三島	28						52	愛大附属	10
			C-1 9:30	105		66	C-2 11:10	74	八幡浜	11
3	宇和島東	82						D-4 14:30		
		D-1 9:30	33				44	60	新居浜西	12
4	松山東	79						78		
				C-1 9:30			D-1 9:30		松山商	13
5	東温	135						32		
		C-2 11:10	64					C-3 12:50		
6	吉田	42						72	西条	14
			D-1 9:30	49				18		
7	新居浜南	67						D-2 11:10	宇和島南	15
		D-2 11:10	55					D-3 12:50		
8	大洲	95						127	済美	16
								149		

《 試合会場・コートについて 》

A・B(松山工業高校)／C・D(伊予高校)／M(松山市総合コミュニティーセンター)／F(伊予市民体育館)

平成30年度 全国高等学校バスケットボール選手権大会(愛媛県予選) 男子

No	Aチーム	得点				Bチーム	ランク	No	Aチーム	得点				Bチーム		
A1	松山工業 高校	135	31 36 41 27	— — — —	11 17 18 14	60	弓削商船 中等教育	1回戦	B1	宇和島南 高校	74	14 26 24 10	— — — —	25 25 19 25	94	松山商 高校
A2	松山北 高校	78	15 31 15 17	— — — —	19 17 8 17	61	大洲 高校	1回戦	B2	三島 高校	69	18 15 12 24	— — — —	34 29 10 30	103	済美平成 高校
A3	吉田 高校	45	13 17 6 9	— — — —	44 33 36 42	155	新田 高校	1回戦	B3	松山中央 高校	103	31 23 29 20	— — — —	7 8 14 18	47	東予 高校
A4	今治南 高校	86	16 23 27 20	— — — —	17 8 21 30	76	松山城南 高校	1回戦	B4	今治西 高校	71	16 12 17 26	— — — —	23 20 19 17	79	八幡浜工 高校
A1	松山工業 高校	124	28 35 34 27	— — — —	10 10 20 20	60	松山商 高校	2回戦	B1	松山北 高校	83	18 21 22 22	— — — —	12 12 14 30	68	済美平成 高校
A2	松山中央 高校	44	10 14 10 10	— — — —	33 35 22 37	127	新田 高校	2回戦	B2	八幡浜工 高校	63	12 16 18 17	— — — —	16 19 8 27	70	今治南 高校
A1	松山工業 高校	91	23 30 16 22	— — — —	11 14 9 19	53	松山北 高校	準決勝	B1	今治南 高校	47	15 11 8 13	— — — —	27 20 29 29	105	新田 高校
M5	松山工業 高校	65	12 17 14 22	— — — —	28 7 14 30	79	新田 高校	決勝								

・新田高校、2年連続36回目のウインターカップ出場。

大会名称: 平成30年度
全国高等学校バスケットボール選手権大会愛媛県大会

開催場所: 伊予高等学校 Dコート

試合区分: No. 2 女子 準決勝

期 日: 2018(H30)年11月3日(土)

主審: 上田 孝之

開始時間: 09:30

副審: 前田 周二

終了時間: 11:00

済美 (中予)	○ 75	12 — 13	● 66	新居浜商業 (東予)
		17 — 14		
		27 — 22		
		19 — 17		
		—		
		—		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	三原 愛莉	6	0	1	4	3
5	*	松本みずき	40	1	13	11	3
6		川原 美羽	—	—	—	—	—
7		水元こなつ	0	0	0	0	5
8	*	上野 歩生	0	0	0	0	2
9	*	岡崎 芙蓉	6	0	2	2	3
10	*	田中 莉央	16	0	7	2	2
11		三原 梨央	1	0	0	1	0
12		中村 結路	—	—	—	—	—
13		加藤 安結	0	0	0	0	3
14		常谷 鯉音	—	—	—	—	—
15		池田 友愛	—	—	—	—	—
16		高田 稜	—	—	—	—	—
17		山口 愛	—	—	—	—	—
18		常葉萌々香	6	0	2	2	2
HC		中川香一郎 / TEAM					—
		合計	75	1	25	22	23

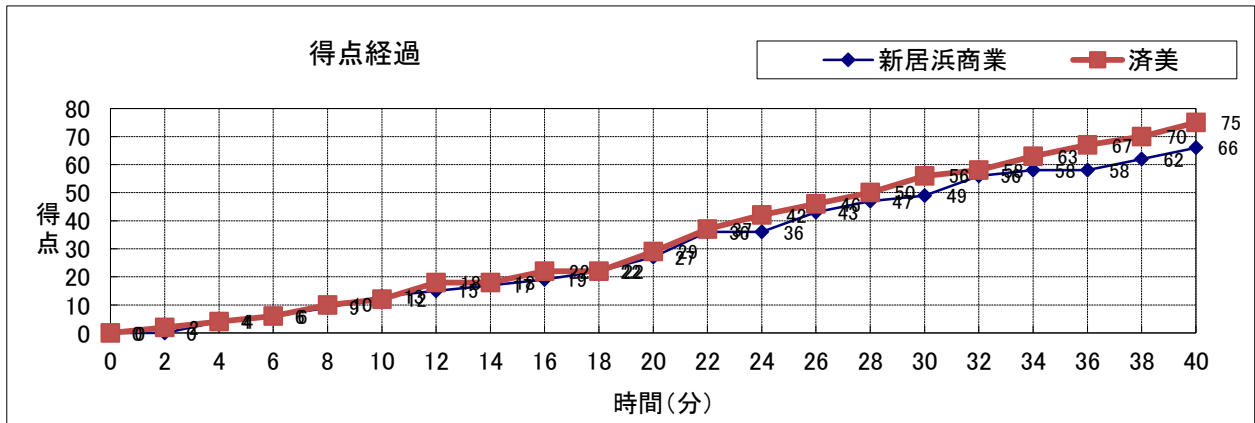
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	高橋 愛実	0	0	0	0	3
5	*	沼口 愛菜	27	4	4	7	3
6		信岡 舞	—	—	—	—	—
7	*	横内 来美	2	0	0	0	2
8		村上 真佳	0	0	0	0	2
9		森實 優芽	—	—	—	—	—
10		黒川 結香	3	1	0	0	2
11	*	村上 七海	18	0	7	4	4
12		石川 莉子	2	0	0	2	3
13		伊藤 穂香	—	—	—	—	—
14		宮崎 千乃	—	—	—	—	—
15	*	重松 歩沙	14	0	3	8	3
HC		窪田 夕子 / TEAM					—
		合計	66	5	14	23	23

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル

第1ピリオド、済美はゾーン、新商はマンツーマンでスタートする。互いに厳しくボールマンにプレッシャーをかけ合い、なかなか得点を許さない。済美は#5を中心に攻撃を組み立てる。新商はオフェンスリバウンドから得点し、12-13で第1ピリオド終了。
 第2ピリオドも変わらず、守り合いの展開となる。新商は済美のゾーンを崩せずミスが続く。その間、済美は#5や#10がシュートを決め点差を広げようとするが、新商は#5が3Pを2本決め、譲らない。27-29の済美リードで第2ピリオド終了。
 第3ピリオド、済美はディフェンスからペースを掴み徐々に差を広げ8点差とする。残り5分でタイムアウトをとった新商は、その後ファウルで得たフリースローを確実に沈め1点差とする。終盤、済美もフリースローを落ち着いて決め、49-56の済美リードで第3ピリオド終了。
 第4ピリオド、新商#5が3Pを決め、点差を縮める。しかし済美のゾーンを前にオフェンスの調子が上がらない。済美は相手のミスから得点を重ね、点差を広げる。新商はフリースローから得点するが、点差は縮まらない。終盤、落ち着いたボール回しで点差を守った済美が66-75で勝利し、決勝進出を決めた。

担当者: 渡部 英明 (高体連)

愛媛県バスケットボール協会・愛媛県高等学校体育連盟



大会名称: 平成30年度
全国高等学校バスケットボール選手権大会愛媛県大会

開催場所: 伊予高等学校 Cコート

試合区分: No. 1 男子 準決勝

期 日: 2018(H30)年11月3日(土)

主審: 菊池 哲也

開始時間: 11:10

副審: 小笠原 淳

終了時間: 12:40

松山工業 (中予)	○ 91	23 — 11 30 — 14 16 — 9 22 — 19 — —	● 53	松山北 (中予)
-------------------------	----------------	---	----------------	------------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	仙波 洋人	11	1	4	0	2
5	*	高橋 聖太	6	0	3	0	3
6	*	藤岡 修也	5	1	1	0	2
7	*	池内 亮太	4	0	2	0	2
8		菊池 雄太	8	2	1	0	1
9	*	曾我部 鈴汰	7	1	2	0	0
10		石川 駿之介	4	0	2	0	1
11		川村 宗之	4	0	2	0	3
12		横田 海翔	3	0	1	1	0
13		岡崎 蓮	2	0	1	0	0
14		武内 理貴	22	1	7	5	0
15		永井 敦士	2	0	1	0	1
16		若山 翔紀	2	0	1	0	3
17		越智 隼平	9	1	2	2	1
18		佐竹 莞多	2	0	1	0	2
HC		池松 健彦 / TEAM					-
		合計	91	7	31	8	21

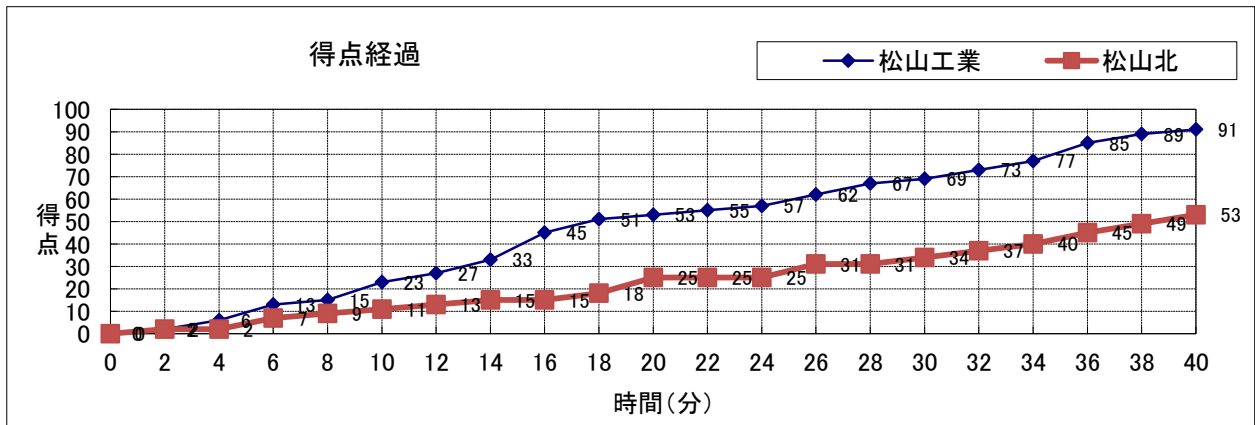
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	池田 憲昭	6	0	3	0	4
5	*	渡部 源詞	19	1	6	4	3
6	*	宇和 樹	12	0	4	4	5
7	*	大原 空	8	1	2	1	0
8	*	三好 真生	2	0	1	0	0
9		玉井 拓海	-	-	-	-	-
10		水野 堅斗	-	-	-	-	-
11		音羽 冬偉	-	-	-	-	-
12		泉 雅也	-	-	-	-	-
13		富岡 虎太郎	-	-	-	-	-
14		高木 翔真	6	0	3	0	1
15		山内 一進	-	-	-	-	-
16		田房 航	-	-	-	-	-
17		塩飽 竜人	-	-	-	-	-
18		三好 隼矢	-	-	-	-	-
HC		竹宮 和輝 / TEAM					-
		合計	53	2	19	9	13

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタートする。松山北は#5、#7を中心に攻めるが、シュートがなかなか決まらない。対する松山工業はプレッシャーディフェンスからの速い攻撃を仕掛け、23-11で終了する。
 第2ピリオド、松山工業はディフェンスのプレッシャーをさらに強め、パスカットからの速攻で点差を徐々に広げていく。対する松山北は攻撃のリズムを取り戻そうと#5、#6を中心に果敢に攻撃を仕掛けるが、点差を縮めることができず、53-25の松山工業リードで終了する。
 第3ピリオド、松山北は#5、#6を起点にチーム全員でシュートを打ち続けるが、ヘルプディフェンスを徹底する松山工業の守りを崩しきれない。堅い守りで主導権を相手に譲らない松山工業が69-34にリードを広げて終了する。
 第4ピリオド、追いつきたい松山北は#5、#6のドライブインから点差を縮めようと果敢に攻撃を仕掛けるが流れを引き戻すことができない。粘る松山北の攻撃をチーム一丸となって守り抜いた松山工業が91-53で勝利した。最後まで戦い抜いた松山北の健闘も称えたい。

担当者: 松浦 正 (高体連)

愛媛県バスケットボール協会・愛媛県高等学校体育連盟



大会名称: 平成30年度
全国高等学校バスケットボール選手権大会愛媛県大会

開催場所: 伊予高等学校 Dコート

試合区分: No. 2 男子 準決勝

期 日: 2018(H30)年11月3日(土)

主審: 川中 正成

開始時間: 11:10

副審: 永井 瑞樹

終了時間: 12:40

<h1>新田</h1> (中予)	○ 105	27 — 15	● 47	<h1>今治南</h1> (東予)
		20 — 11		
		—		
		—		
		—		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		岡田 有夢	6	0	3	0	1
5		塩田龍之介	9	1	3	0	2
6		平岡 遥斗	8	2	1	0	0
7	*	大原 海	13	2	3	1	0
8	*	今井新ノ将	14	4	1	0	1
9		栗林 大貴	6	0	3	0	0
10		片岡慎之介	0	0	0	0	2
11	*	村上 翔	16	2	4	2	1
12		上野 大翔	8	0	4	0	0
13	*	中川 拓人	2	0	0	2	0
14		吉田 雄登	0	0	0	0	1
15	*	正岡 侑真	2	0	1	0	2
16		井上 直也	7	1	2	0	0
17		水本連太郎	10	0	5	0	0
18		岡田 勇輝	4	0	2	0	0
HC		玉井 剛 / TEAM					-
		合計	105	12	32	5	10

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	井上 歩	4	0	1	2	1
5		倉本 真雅	-	-	-	-	-
6	*	曾我 温也	8	0	3	2	1
7		大鋸 俊介	0	0	0	0	0
8	*	福原健太郎	11	1	4	0	1
9	*	大澤 琢斗	11	1	4	0	2
10		曾我部 陸	0	0	0	0	0
11		橋田 巧	-	-	-	-	-
12		川崎 翔太	-	-	-	-	-
13		菊川 陸椰	-	-	-	-	-
14		渡邊 翼	-	-	-	-	-
15		野村建太郎	-	-	-	-	-
16		越智 彪雅	2	0	1	0	0
17		大澤 壮汰	0	0	0	0	0
18	*	吉田 聖貴	11	0	5	1	2
HC		西岡 大輔 / TEAM					-
		合計	47	2	18	5	7

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド、今治南はゾーン、新田はマンツーマンでスタート。今治南はゾーンからミス誘発し速攻と精度の高いジャンプシュートで得点を重ねていく。新田は序盤こそゾーンに苦戦するも、得意のランニングプレイで得点を重ね、15-27新田リードで第1ピリオド終了。

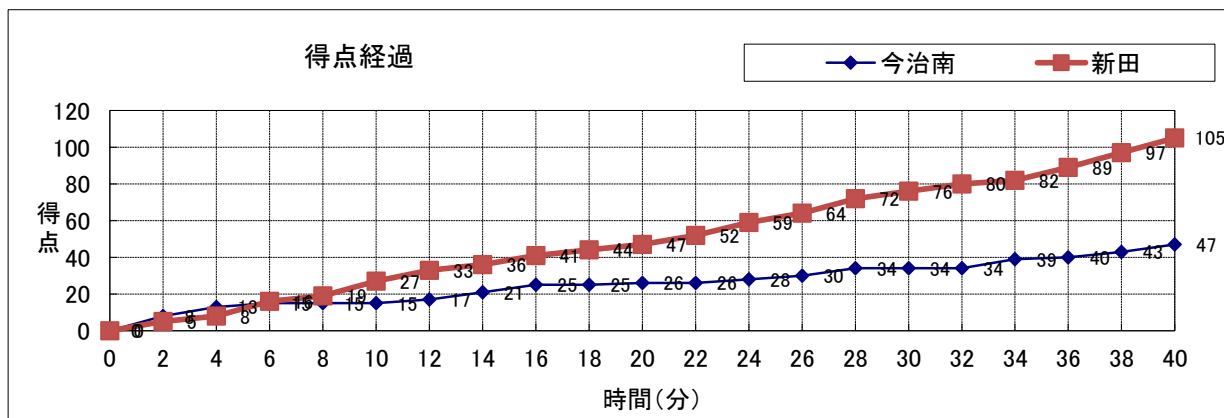
第2ピリオド、今治南はセットオフenseを使いながらディフェンスを破りに行くも、なかなか得点に結びつかない苦しい時間帯が続く。タイムアウトを取るも流れは変わらず、新田は速攻からどんどんと得点を伸ばし、26-47新田リードで第2ピリオド終了。

第3ピリオド、今治南は1対1で応戦するも、得点を伸ばすことができない。新田は選手交代を積極的に行い、ベンチメンバーが奮闘し、34-76新田リードで第3ピリオド終了。

第4ピリオド、今治南はディフェンスをマンツーマンに変更し、最後の追い上げを試みるも、新田は最後まで足を止めることなく、豊富な運動量で主導権を渡さず、47-105で試合終了し、新田が決勝戦へ駒を進めた。

担当者: 野澤 武尊 (高体連)

愛媛県バスケットボール協会・愛媛県高等学校体育連盟



大会名称: 平成30年度
全国高等学校バスケットボール選手権大会愛媛県大会

開催場所: 松山市総合コミュニティセンター Mコート

試合区分: No. 3 男子 決勝

期 日: 2018(H30)年11月4日(日)

主審: 薦田侑二郎

開始時間: 15:00

第1副審: 中井 将基

終了時間: 16:30

第2副審: 池田 隼人

<h1>新田</h1> (中予)	○ 79	28 — 12	● 65	<h1>松山工業</h1> (中予)
		7 — 17		
		14 — 14		
		30 — 22		
		— —		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		岡田 有夢	0	0	0	0	0
5		塩田龍之介	4	0	1	2	0
6		平岡 遥斗	11	3	1	0	1
7	*	大原 海	8	1	2	1	0
8	*	今井新ノ将	6	0	2	2	2
9		栗林 大貴	-	-	-	-	-
10		片岡慎之介	-	-	-	-	-
11	*	村上 翔	9	0	4	1	3
12		上野 大翔	7	0	2	3	1
13	*	中川 拓人	14	0	5	4	1
14		吉田 雄登	-	-	-	-	-
15	*	正岡 侑真	20	2	5	4	4
16		井上 直也	-	-	-	-	-
17		水本連太郎	-	-	-	-	-
18		岡田 勇輝	-	-	-	-	-
HC		玉井 剛 / TEAM					-
合計			79	6	22	17	12

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	仙波 洋人	18	2	6	0	4
5	*	高橋 聖太	0	0	0	0	3
6	*	藤岡 修也	15	0	4	7	4
7	*	池内 亮太	5	0	2	1	4
8		菊池 雄太	20	4	3	2	1
9	*	曾我部鈴汰	7	1	2	0	1
10		石川駿之介	-	-	-	-	-
11		川村 宗之	0	0	0	0	0
12		横田 海翔	-	-	-	-	-
13		岡崎 蓮	-	-	-	-	-
14		武内 理貴	0	0	0	0	0
15		永井 敦士	-	-	-	-	-
16		若山 翔紀	-	-	-	-	-
17		越智 隼平	-	-	-	-	-
18		佐竹 莞多	-	-	-	-	-
HC		池松 健彦 / TEAM					-
合計			65	7	17	10	17

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。開始直後、新田が#11のゴール下シュートで得点すると、すかさず松山工業は#4のドライブインや3Pで応戦する。序盤から速い展開の攻防が続く中、残り6分、新田#8のドライブインがバスケットカウントとなり、松山工業がたまたまタイムアウト。その後、新田は一気に流れを掴もうと、ゾーンディフェンスに変更し、#15の3Pなどで点差を徐々に広げ、12-28新田リードで終了。

第2ピリオド、追い付きたい松山工業はゾーンディフェンスとマンツーマンディフェンスを使い分け、#8の3Pなどで一気に点差を縮める。対する新田は相手のディフェンスに思わずオフェンスの足が止まるが、#7の3Pなどで再び盛り返しを図る。#6の積極的なオフェンスリバウンドなどで流れを掴みだした松山工業が、落ち着いたボール運びで点差を縮め、29-35新田リードで前半終了。

第3ピリオド、開始直後に松山工業#6の3Pが相手のファールを誘い、そのフリースローを3本とも決め、さらに#7、#4、#6のミドルシュートなどで連続得点し、同点に迫っていく。対する新田は、#13の連続得点や#6の3Pで再び流れを掴みにかかる。その後、一進一退の攻防が続き、43-49新田リードで終了。

第4ピリオド、新田が#6の3Pなどから、徐々に得点を伸ばしていく。追い付きたい松山工業は、オールコートマンツーマンでプレッシャーをかけ、#8や#9の3Pで応戦。しかし、流れを掴んだ新田が落ち着いて得点を重ね、最後は松山工業の激しいディフェンスにも冷静に対処し、65-79新田勝利で試合終了。新田が2年連続優勝を果たし、全国の切符を勝ち取った。両チームの熱い思いが会場で伝わる熱戦であった。

担当者: 永井 瑞樹(愛媛県バスケットボール協会)

愛媛県バスケットボール協会・愛媛県高等学校体育連盟

